

新庁舎建設に関する調査・研究報告

庁舎建設に関する特別委員会

庁舎建設に関する特別委員会は、市役所庁舎の建設における調査・研究を目的に、平成23年9月定例会において設置し、これまで19回にわたり委員会を開催しています。その調査・研究結果については本会議で計4回の中間報告を行ってきましたが、その後も公募型プロポーザルに対する調査、くまもとアトポリス参加施設及び他自治体の庁舎を視察しておりますので、その概要等について報告します。

平成25年9月22日、天草市民センターホールにおいて、くまもとアトポリス事業による公募型プロポーザルの2次審査が行われ、「山本理顕設計工場」に決定した。委員会を10月10日に開催し、執行部と「山本理顕設計工場」出席のもと、次のとおり説明を受けた。

改めて実施し、免震・耐震も検討する。

問 ワークショップ、議会の意見が取り入れられる期限は。

答 今年度中までにご意見を頂きたい。

問 人口と職員減が進む中、庁舎の規模が過大である。また、示された予算内で工事は行えるのか。

答 庁舎の規模は、ワークショップや議会の意見を踏まえ、改めて検討する。工事費は、本体建築予算を55億円と見ているが、部材等の上昇が考えられる。

問 9月議会で「新庁舎建設事業」の全体概要が見えないとの理由で附帯決議を付した件に関して、基本計画以外に想定される費用は。

答 基本計画以外に想定される費用は、隣接地取得費・補償費8、

【説明】工法はPC工法（注①）、免震構造（注②）を採用。ショップ、クラブハウスを将来にわたり市民と行政が協働し、まちづくりに取り組むための施設を併設、また庁舎棟の間に設置する坂の広場下を利用し、窓口業務が集約された大空間のスペースを作りたい。坂上の展望広場を含む3つの広場を防災拠点と考えている。また、建設予定地の地盤調査も

900万円、建設予定敷地内の下水道管敷設替え設計費・工事費1億6,040万円や、工事施工中の代替駐車場賃借料、サーバー関係及び防災無線の移転費、電波障害補償費、信号移設工事費、建築確認申請手数料等建設費用外予算が想定される。

視察研修

くまもとアトポリスに参加した

県内3カ所の学校施設

・宇城市立豊野小学校

・熊本県立球磨工業高等学校

・宇土市立宇土小学校

市役所庁舎2カ所

・大分県豊後大野市 新庁舎

・熊本県山鹿市新庁舎（建設中）

以上、本特別委員会における審査概要等について報告しましたが、今後も、あらゆる角度から調査・研究を進めていきます。

参考
注①：PC（プレキャスト）工法
事前に成形したコンクリート部材を工場生産し、その部材を建設現場に運び込みつなぎ合わせる工法。
注②：免震（めんしん）構造
地震力を抑制することによって構造物の破壊を防止する構造。耐震は地震力を受けても壊れない（耐える）ことを指し、免震は地震力をなるべく受けたくない（免れる）ことを指す。



昭和41年に建設された現庁舎

第2回政策討論会を開催

天草エアラインの現状と課題について

平成12年に就航し、今年で14年目を迎える天草エアラインのダッシュ8。現在、燃料の高騰、機体の老朽化、また採算の取れる乗客率の確保など、多様な問題を抱えていることから、市議会でも調査研究を進めるべく11月19日に政策討論会を開催しました。

討論会では議長を座長として開会。はじめに市に対し状況報告を求めた。

【説明】平成24年度の総収入額は約7億9,000万円、総費用及び整備費は約11億7,000万円、現在、県及び天草地域で約4億円の補助を行っており、今後も行政側からの補助がなければ運行出来ない状況。

機体においては、平成27年度に大規模な機体整備（約3億円）を控えていることから、現滑走路で運用可能な機体（フランス製の新機種約20億円等）を検討している。購入については、今後、県・上天草市・天草市・苓北町で調整を行い、平成26年度発注、27年度の導入を目指したい。

質疑

問 機体購入に係る負担割合は。

答 県をはじめ関係自治体等で協議を進めているが、県も厳しいとの話を聞いている。

問 機体を購入する際、合併特例債の活用は可能か。

答 可能である。



問 新機種を購入した際の運行経費は。

答 試算では5,000万円ほど高くなる。

問 機体購入のスケジュールは。

答 機体発注から納品に1年かかる見込み。平成26年度中には決断が必要。

問 滑走路の延長は出来ないのか。

答 盛土、橋を架けるなどが考えられるが、費用的に厳しいと考えている。

要望 機体購入までのスケジュールや5者協議の推移、購入に当たってのメリット、デメリット等を明文化し示していただきたい。

議会報告会を終えて

2年間で34回開催しました

市議会の動きや役割を市民の皆さんに知っていただくとともに、市民の皆さんの声を拝聴し市政に届けるため、平成24、25年の2年間、各地区で34回にわたり議会報告会を実施しました。

報告会では、さまざまな貴重なご意見をいただきました。中には一般質問等でも質した議員もありましたが、まだまだ皆さんの期待にそうまでには至っていないと改めて気を引き締めたいところと述べています。

今後も引き続き各地域に足を運び、皆さんの声を聴かせていただくべく議会報告会を開催していきます。議会としましては皆さんのご意見をもとに、議員間で積極的に意見交換を行う政策討論会を開催し、市民の声が届く、また市民に活用される地方自治の骨格機関を目指していきます。

今後とも天草市の現状や将来を見据えた建設的なご意見、ご提案をよろしくお願ひします。

